

インターネットの下記サイトにて、セミナー案内及び出版案内が御覧頂けます。又、お申し込みも受け付けております。
<http://www.tic-co.com/>

★こうすれば技術者・研究者の「暗黙知」から組織的・継続的に高い価値が認定される“強い特許”を創造することができます！！
★本セミナーでは、技術者・研究者が思い描く将来の技術コンセプトを権利化する「特許ビジュアライゼーション」について、キャノンで実務経験を積み、その後、日米において、弁理士としてご活躍されておられる龍華先生に事例をまじえ、その具体的な方策を詳しく解説頂きます。

一適切なナレッジマネジメントにより組織的・継続的に価値の大きい発明を創出する一

特許ビジュアライゼーション

～その進め方から実際の成功例まで具体的に解説する！！～

- **講師** RYUKA 国際特許事務所 所長 龍華明裕氏
弁理士（特定侵害訴訟代理付記）
<講師紹介> 東北大学工学部を卒業後、東京大学工学部修士課程を修了。1987年からキャノンでG4ファクシミリハードウェアおよびソフトウェアの開発に従事。1991年に国内特許事務所に入所。1993年に弁理士登録。1995年から1998年まで米国法律事務所Cushman Darby & Cushman (現 Pillsbury Winthrop Shaw Pittman LLP) に技術顧問として勤務。1997年、米国弁理士合格。日本および米国の企業から米国への特許出願、日本企業の米国における特許侵害鑑定などを取り扱う。1998年に帰国し、RYUKA 国際特許事務所を創立。
- **日時** 2008年1月24日(木) 13:30～16:30
- **会場** 東京・新お茶の水・総評会館・4F・402室
※急ぎのご連絡は(株)技術情報センター(TEL. 06-6358-0141)まで!!
- **受講料** 31,500円(1名につき)
(テキスト代、喫茶代、消費税分1,500円を含む)

◎ プログラム ◎

- I. 技術者・研究者が組織的・継続的に価値の大きい発明を創出することが可能な特許ビジュアライゼーションとは
～価値の高い特許を取得するための考え方
～出願件数が伸びる前に創られた発明が大きな価値を生む～
1. 日本での従来の出願方法の課題
～技術者・研究者が発明を生み出しにくい、本当の理由とは～
2. 提案書を持つのみでは、価値ある特許は得られない
3. 価値の高い特許を生み出すためには、どのようなプロセスが必要なのか？
4. 特許ビジュアライゼーションの考え方
～具体的な設計が始まっていない未来の製品やサービスのコンセプトを権利として出願する新たな活動が必要～
5. 特許ビジュアライゼーションの効果
- II. 特許ビジュアライゼーションの進め方
～技術者・研究者の「暗黙知」から特許を創造する方法
～ビジュアライゼーションの根幹は、聞き出す能力～
1. 暗黙知からの特許創作
- (1) 少数の「コンセプト特許」と多数の「技術特許」
- (2) コンセプト特許創出のポイント
- (3) プレインストーミング
～技術者・研究者の暗黙知を引き出し、発明を適切に整理・展開する～
2. 特許ビジュアライゼーションにおける思考の進め方
- (1) 課題のリストアップ
- (2) 既存の解決方法のリストアップによる課題リストへの追加
- (3) 課題が顕著になる状態の具体化
- (4) 新たな解決方法の創出
3. テーマ設定の実際
- (1) 将来的にマーケットが広がる分野を戦略的にテーマ設定する
- (2) 特許ビジュアライゼーションのテーマ選定
4. 公知技術のリサーチ
- (1) 公知技術の事前リサーチ
- (2) 特許事例のリサーチ
- (3) リサーチ結果を技術者・研究者に紹介
5. キーマン選出のポイント
6. 簡易評価のポイント
- III. 特許ビジュアライゼーションの成功事例と事業展開
1. 特許ビジュアライゼーションの成功例
- (1) アルゼにおける事例
- (2) 燃料電池の事例
- (3) その他
2. 発明の効果的な展開方法
3. 新規事業創出のポイント
- IV. 質疑応答

一名刺交換会

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、参加者間での名刺交換会を実施させて頂きます。

主催



(株)技術情報センター セミナー部

〒530-0043 大阪市北区天満2丁目8番18号 開成天満ビル
TEL 0120-06-0140 FAX 06-6358-0134
ホームページ <http://www.tic-co.com/>